

学校評価（令和6年度 前半集計結果）

9/25（水）に学校運営協議会を開催し、アンケートの結果から見えた課題について、原因の究明や具体的な解決策を検討しました。職員の共通理解のもと実施していきます。

また、要望等については真摯に受け止めると同時に、より良い教育活動を推進していくことで、保護者や地域の方々と連携して子供を育てていけるようにしていきたいと存じます。

1 学力向上

生徒アンケートでは、昨年度の同時期のアンケートと比べると、満足度の観点で、「私は、授業でわからないことがあった場合は、先生や友達に教えてもらいながら、なるべく早く解決している。」の項目が5.1ポイント増加しました。

その一方で、「私は、家庭学習が習慣になっている」の項目が42.7%と、5.8ポイントの減少となりました。この結果から、約6割の生徒が家庭学習の習慣が身につけていないといえます。

保護者アンケートにおいて、昨年度の同時期のアンケートと比べると、しかし、「お子さんは、家庭学習が習慣化している」の項目で満足度が20.0ポイントと大幅に減少しました。2/3の御家庭でお子さんの家庭学習が習慣化されていないと感じているようです。

学習意欲の向上や、学びに向かう力を育むことは喫緊の課題であると感じます。家庭学習の習慣化に向けて、御家庭でも御協力をお願いいたします。

- （1）定期テスト前の朝読書の時間を活用した学力向上週間の継続
- （2）進路選択を視野に入れたキャリア教育の充実
- （3）相互授業参観や各種研修に積極的に参加することによる指導力の向上

2 生徒の悩みへの対応

生徒アンケートでは、昨年度の同時期のアンケートと比べると、満足度の観点で、「私は、学校生活の約束や交通ルール等を守っている。」の項目が99.1%と、ほぼ100%に近い結果になりました。日々の学校生活の様子や、交通安全教室を受講する態度などからも納得のいく結果となりました。

保護者アンケートでは、昨年度の同時期のアンケートと比べると、「学校は、生徒の悩み等に親身かつスピード感をもって対応している」の項目で、満足度が3.7ポイント増加しました。また、「お子さんは、楽しく学校に通っている」の項目が4.5ポイント増加しました。

- （1）職員間の報告・連絡・相談の徹底。些細なことでも情報共有を行う。
- （2）適切な初期対応と、家庭との協調体制の構築。
- （3）教育相談の充実及び風通しのよい体制づくり。

3 教育活動の内容や生徒の様子の伝え方

保護者アンケートでは、「教育活動の内容や生徒の様子等伝えている」で2.7ポイント、「学校の広報活動の充実」で、4.6ポイントの満足度の数値が増加しました。特に今年は、マチコミメールを活用し、校外学習や修学旅行の様子を配信したことで、保護者の方からも感謝のお言葉をいただきました。

しかし、部活動の連絡について「1ヶ月前には、予定が知りたい」といった御意見がありました。急な変更を除き、見通しをもって活動計画を保護者の方にお伝えできるようにしたいと思います。

- （1）学校だより（各月の中旬）や学年だより（各月の上旬）で、生徒の活動の様子を伝えていきます。また、ホームページにも掲載しております。